

2010年4月26日

報道関係各位

サントリー酒類株式会社
タワーレコード株式会社

—「SUNTORY × TOWER RECORDS」コラボレーション企画 第2弾—

NO MUSIC, NO LIFE. NO MUSIC, NO WHISKY.

4組の個性的なアーティストが4種のモルトハイボールと共に
アーティストへの報酬はウイスキー“一生分”！

サントリー酒類(株)とタワーレコード(株)は、「音楽とウイスキー」をテーマに2009年秋から展開している広告企画、「NO MUSIC, NO LIFE. NO MUSIC, NO WHISKY.」の第2弾を、4月26日(月)から、交通・屋外・雑誌・WEB広告、全国のタワーレコード・タワーMINI82店舗および携帯会員向けキャンペーン、東京・大阪のバー約3,000店、モバイルコンテンツにて展開します。

「NO MUSIC, NO LIFE. NO MUSIC, NO WHISKY.」は、音楽とウイスキーを愛するアーティストとモルトハイボール(シングルモルトウイスキーのソーダ割)のコラボレーションを通じ、ハイボールならではのシングルモルトの楽しみ方や魅力を広く訴求する事を目的としたものです。

各アーティストは、本企画趣旨とウイスキー“一生分”というユニークな報酬に賛同し参加。それぞれの個性に相応しいモルトハイボールとコラボレーションし、アーティスト本人の目線で、シングルモルトの魅力について紹介していきます。

第2弾となる今回は、藤井フミヤさん、JUJUさん、菊地成孔さん＆矢野沙織さん、谷中敦さん(東京スカパラダイスオーケストラ) & 武藤昭平さん(勝手にしやがれ)の4組・6名のアーティストが参加。それぞれ、「山崎10年」「白州10年」「ザ・マッカラン12年」「ボウモア12年」の4種のシングルモルトウイスキーおよびモルトハイボールとコラボレーションし、広告を展開していきます。



NO MUSIC, NO LIFE. NO MUSIC, NO WHISKY.
広告素材より

-企画概要-

➤ 名称

「NO MUSIC, NO LIFE. NO MUSIC, NO WHISKY.」

➤ 展開期間

2010 年 4 月 26 日(月)～6 月 30 日(水)

➤ 主な展開内容 <展開ツール>

- ◆ 交通・屋外・雑誌・WEB・モバイルコンテンツ<各種広告素材>
- ◆ 全国のタワーレコード・タワーミニ 82 店舗 <ポスター・冊子>
- ◆ 東京・大阪のバー約 3,000 店での広告連動型キャンペーン
<店内 POP、スクラッチカードによるグッズプレゼント>
- ◆ タワーレコード携帯会員(満 20 歳以上)向け、プレゼントキャンペーン
「NO MUSIC, NO WHISKY. MALT HIGHBALL キャンペーン」
<店頭で配布するチラシの QR コードから応募、応募期間 4 月 26 日(月)～5 月 16 日(日)>
賞品 : A コース／サントリー シングルモルトウイスキー ハーフボトル 4 種セット 30 名様
B コース／モルトハイボール トライアルボックス 10 名様

➤ 企画趣旨

音楽とウイスキーを愛するアーティストとモルトハイボール(シングルモルトウイスキーのソーダ割)のコラボレーションを通じ、ハイボールならではのシングルモルトの楽しみ方や魅力を広く訴求し、新たなシングルモルトファンの開拓を目指す。

※本企画のアーティストへの報酬、ウイスキー“一生分”は適正飲酒量の視点に立ち算出しています。

➤ 参加アーティストとシングルモルトウイスキーの組み合わせ

- ◆ 藤井フミヤ × 「山崎 10 年」
- ◆ JUJU × 「白州 10 年」
- ◆ 菊地成孔＆矢野沙織 × 「ザ・マッカラン 12 年」
- ◆ 谷中敦(東京スカパラダイスオーケストラ) & 武藤昭平(勝手にしやがれ) × 「ボウモア 12 年」

➤ 公式ホームページ

URL : <http://suntory.jp/NMNW>

* 同時にモバイルサイトも公開

■参加アーティストコメント

◆藤井フミヤさん × 「山崎 10 年」

「山崎」はロックとか水割り、ハイボールでよく飲んでいます。香りもいいし、飲みやすくて安心感もある。ハイボールを飲むようになったのは、知り合いが始めたお店で仲間と飲んでから。そしたらお店で流行って、そこに来る仲間とか知り合いも飲み始めた。ハイボールブームの火付け役はきっと僕らですよ(笑)

—ウイスキー“一生分”的報酬について

ウイスキーの似合う男にでもなりましょうか。天国までつづく階段をひとつひとつ上りながら、ちびちびとロックグラスを傾け、ちびちびとこれまでの人生でも振り返りつつ…。さて、また一段上りますか…。

◆JUJUさん × 「白州 10 年」

食事中はハイボール、しっかり飲む時はロックで飲んでいますね。日々、親友かのように付き合っていて、1日の最後に会いたくなる人、そんな存在です。ジャズみたいに夜っぽいイメージのある音楽を聴きながら、ウイスキーを飲みたいなと思いますね。(ミント入り“森香るハイボール”を飲んで)ミントを入れると味も香りも広がりますね、女の子にうけるのが分かる気がします。甘くない、大人用モヒートっていう感じで。あ、白州だから“ハクヒート”かな(笑)

—ウイスキー“一生分”的報酬について

とても光栄です！！なにせお酒といえばウイスキーしか飲まない私にとって、こんなに嬉しいことはありません。

◆菊地成孔さん&矢野沙織さん × 「ザ・マッカラン 12 年」

【菊地さん】

僕は昔からハイボール一本槍で、まさかハイボールブームが来るとは思わなかつたですね。ハイボールってジャンル問わずどんな食べ物にも合うし、ある意味、国民酒っていうか。ウイスキーって飲むとシャキッとした酔い心地になりますよね。文豪がよく言う「遊ぶ時はワインで、書く時はウイスキーだ」みたいな。

【矢野さん】

「ウイスキーがお好きでしょ」の曲が昔から好きで、ライブでよくやってるんですよ。だから今回この企画に参加できてとてもうれしいです。ウイスキーを飲むと浮世がまた違って見えるのが好きなんです。ウイスキーと音楽を合わせるなら歌謡曲。ジャズと歌謡曲がすごく近かったムード歌謡の時代のイメージですかね、憧れます。

—ウイスキー“一生分”の報酬について

【菊地さん】

一生分などと言わずに、酔いしれて眠っている夢の中のまで二生分、一生ウイスキーを飲んで過ごした人生の後の、来世の分まで含め、最低でも三生分を頂きたいのですが、ウイスキーでも舐めながら、気持ちに任せるにします。いつものように。

【矢野さん】

私に一生分のウイスキーをくれてしまってどうするおつもりか。いやいや、どうするつもりもへてしまも無いでしょうが、一生ウイスキーの芳香を傍らに暮らせるなんて。まったく。明日からの私の生活は琥珀色であること請け合いでございます。

◆谷中敦さん&武藤昭平さん × 「ボウモア 12 年」

【谷中さん】

ハイボール、僕はよく飲みます。最近は飲める店も増えて。お酒は何かにかこつけて飲んでます。ライブ後はもちろんだけど、取材ですらも終わったら打ち上げで飲む、みたいに(笑)。お酒を飲みながら人としゃべってると、潜在的に考えていたことが出てきたりして、人と人の間にお酒があるといいよね。

【武藤さん】

ストレートで飲むよりハイボールの方がすごく香りが広がりますよね。飲んでいったん体にしまった後の、一番最後に来る香りがすごいコクがあるというか、風味がいい。お酒って人と人の間を活性化してくれる潤滑油みたいな役割を果たしてくれますよね。そういうのが楽しめるといいな～って思います。

—ウイスキー“一生分”の報酬について

【谷中さん】

賑やかに呑むのもいいですが、沈思黙考するように呑むウイスキーも最高です。そんな幸せが一生約束されているなんてありがたいことです。感謝します。

【武藤さん】

ウイスキー“一生分”か～、光栄です。一生付き合っていけるものがまた一つ増えたな。後は一生ウイスキーを飲み続けられるように、体調管理を頑張っていきます。

■参加アーティストプロフィール

藤井フミヤ（ふじい ふみや）

1962年福岡県生まれ。1983年、「チェックカーズ」としてデビュー。1993年以降、ソロアーティストとして活躍。「TRUE LOVE」や「Another Orion」等ミリオンヒットを世に送り出し、あらゆる世代から支持を得る。2008年、デビュー25周年＆ソロ15周年を迎えて、アニバーサリーベスト「15/25」や初のコラボアルバム「F's KITCHEN」を携えてのツアーを開催。年末には10年連続となる日本武道館カウントダウン公演を成功させる。2009年9月にコラボアルバム第2弾「F's シネマ」をリリース。同年10月から年末まで続いたアルバムツアー「F's CINEMA」を経て、2010年3月からは内容を一新させた春ツアー「Spring Fever」の開催と、精力的に活動を続けている。

JUJU（ジュジュ）

12歳の頃よりジャズシンガーを志し、18歳で単身渡米。2004年8月にメジャーデビュー。2006年11月にリリースした「奇跡を望むなら...」が、2007年度USEN年間総合チャート（J-POP）1位を獲得。2009年リリースのセカンドアルバム「What's Love?」では30万枚以上を売り上げた。また、2008年4月からはカヴァーライブイベント「ジュジュ苑」を12ヶ月連続で開催するなど、ライブ活動も精力的に展開。そして2010年3月発売の最新アルバム「JUJU」は、オリコンウィークリーチャート初登場2位を記録、さらに発売から4週連続オリコンチャートトップ10入りを続け、ロングセールスを継続中。

菊地成孔（きくち なるよし）

1984年のプロデビュー後、山下洋輔グループなどを経て、2004年にソロ・アルバム「デギュスタシオン・ア・ジャズ」、「南米のエリザベス・ティラー」を発表。2006年7月に、UA×菊地成孔名義で発表したアルバム「curejazz」が大ヒット。2008年からは菊地成孔ダブ・セクステット、菊地成孔とペペ・トルメント・アスカラールで活動している。また驚異的な博識と饒舌な文体でエッセイストとしても高い評価を受けている。「情熱大陸」（TBS）、「英語でしゃべらナイト」（NHK）など、テレビ番組への出演も多数。

矢野沙織（やの さおり）

1986年東京都出身。9歳の時プラスバンドでサックスを始める。チャーリー・パーカーやビリー・ホリディに衝撃を受けジャズに傾倒。自らジャズクラブに出演交渉し14歳でライブ活動を開始。SAVOYレーベル日本人アーティスト第2弾として16歳でデビュー。「報道ステーション」（テレビ朝日）のテーマ曲でそのサウンドは広く一般に認知されている。2007年春には花王“ASIENCE”アジアンビューティに抜擢され、同CMで使用された「I & I」収録のベスト盤が日本ゴールドディスク大賞を受賞。2010年にはモダンジャズの原点に取り組んだ最新作「BEBOP at the SAVOY」を発売。

谷中敦（やなか あつし）

日本だけでなく、アジア、ヨーロッパと世界各国で活動する大所帯ライブバンド、「東京スカパラダイスオーケストラ」のバリトンサックス担当。同バンドは 2009 年にデビュー20 周年を迎えるメモリアルアルバム「WORLD SKA SYMPHONY」を発売した。2010 年 8 月には同バンド自らが主催するフェス「トーキョースカジャンボリー」を開催予定。

武藤昭平（むとう しょうへい）

ジャズやスwingをパンクの精神で男氣溢れる唯一無二の音楽に昇華させ、圧倒的な存在感を醸し出す7人組「勝手にしやがれ」のリーダーでありドラムス・ヴォーカルを担当。2009 年に入ってソロ活動を展開。2010 年 2 月には待望のソロアルバム「トゥー・ペア」をリリース。今年は「勝手にしやがれ」としての活動も精力的に行う。

■シングルモルトウイスキーについて

【製品】

◆山崎 10 年

【製品特長】

ホワイトオーク樽を中心としたモルト原酒の中から酒齢 10 年以上のものを厳選。甘い果実、ナッツを想わせる香りが特長。

◆白州 10 年

軽快なスモーキーフレーバーとフルーティーな香味が調和。クリーミーな味わいとキレのよいにアフターテイストが特長。

◆ザ・マッカラン 12 年

シングルモルトのロールスロイスと呼ばれる逸品。シェリー樽熟成由来のフルボディで力強い熟成感、はちみつや花を連想させる香りが魅力。

◆ボウモア 12 年

「アイラモルトの女王」の名に相応しい、適度なピート香と潮風の香りに加え、スパイシーさまでを秘めたベストバランスのアイラモルト。

■<ご参考>第 1 弾の参加アーティストとシングルモルトウイスキーの組み合わせ

◆山崎まさよし × 「山崎 10 年」

◆Port of Notes × 「白州 10 年」

◆坂本龍一 × 「ザ・マッカラン 12 年」

◆斎藤和義 × 「ボウモア 12 年」

◆The Ska Flames 大川毅&Oi-SKALLMATES ワタル・バスター × 「ラフロイグ 10 年」

◆EGO-WRAPPIN' × 「グレンフィディック 12 年」

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 電通パブリックリレーションズ 担当:高橋、細井

TEL 03-5565-8466 FAX 03-5565-4467

タワーレコード株式会社 広報室 担当:谷河、高橋

TEL 03-3496-5245 E-mail press@tower.co.jp